



かながわの交通

2012
9


今年の交通安全年間スローガン一般部門(警察庁長官賞)
～歩行者・自転車利用者に対するもの～

ありがとう 孫から教わる 交通ルール



上=第34回自転車の安全な乗り方足柄上地区大会(足柄)、下=秋の全国交通安全運動(栄)

ハンドルキーパー運動推進中!



飲酒運転根絶!!

今日のハンドルキーパーさんは?

◎県内の交通事故発生概況(8月末現在)

| 年別 | 区分 | 発生件数 | 死者数 | 傷者数 |
|-------|----|--------|------|--------|
| 平成24年 | | 23,925 | 102 | 28,499 |
| 平成23年 | | 25,176 | 111 | 30,129 |
| 増減数 | | -1,251 | -9 | -1,630 |
| 増減率 | | -5.0 | -8.1 | -5.4 |

◎県人口・運転免許人口

| | 総数 | 男 | 女 |
|------|-----------|-----------|-----------|
| 県人口 | 9,071,855 | 4,545,386 | 4,526,469 |
| 免許人口 | 5,527,749 | 3,219,669 | 2,308,080 |
| 割合 | 1.6人に1人 | 1.4人に1人 | 2.0人に1人 |

(県人口は平成24年8月1日、免許人口は平成24年7月末現在)

平成24年度秋の全国交通安全運動

9月21日(金)から30日(日)の10日間

9月30日は交通事故死ゼロを目指す日

目的

すべての県民を交通事故から守るために、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組みを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

スローガン

安全は、心と時間のゆとりから

高齢者 模範を示そう

交通マナー

運動の基本

子どもと高齢者の交通事故防止

重点

夕暮れ時と夜間の歩行中、自転車乗用中の交通事故防止(特に、反射材用品等の着用推進及び自転車前照灯の点灯の徹底)

全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

飲酒運転の根絶

二輪車の交通事故防止
交通安全協会の推進事項

キャンペーンやイベントなどの開催により、運動への参加を呼びかけるほか、地域や職場等での自主的な活動、交通安全講習会への積極的な参加を働きかけます。

交通指導員や各種団体構成員による街角アドバイザーを積極的に実施し、「交通安全ひとこえ運動」や「ハンドルキーパー運動」を推進します。



九都県市一斉自転車安全利用キャンペーン

平成24年秋の全国交通安全運動の初日である9月21日を自転車安全利用の日として、九都県市(神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県、横浜市、川崎市、相模原市、さいたま市、千

葉市)が一斉に自転車利用者の交通ルール遵守とマナーの向上を求めるキャンペーン等を行うこととしました。県協会では、当日、神奈川県交通安全対策協議会等と連携して相

鉄線海老名駅前において、同駅を利用する自転車利用者や通行者に自転車事故の防止、安全利用を呼びかけます。

～第34回自転車の安全な乗り方足柄上地区大会～

足柄交通安全協会・松田警察署主催による「第34回自転車の安全な乗り方足柄上地区大会」が、去る8月24日(金)、南足柄市体育センターアリーナで開催されました。大会には1市5町の足柄上地区から小学生チーム(19チーム76人)、母親チーム(4チーム16人)が参加しました。

午前中は、昨年の優勝チーム選手による模範走行が行われた後、学科テストに続き「信号交差点の進行」、「一時停止場所の通行」などを競う安全走行テストが行われ、午後からは「ジグザグ走行」、「一本橋走行」、「S字走行」などの技能走行テストが行われました。各チームとも日頃の練習の成果を競い合い、付き添いの保護者から大きな拍手と声援を受けていました。

大会の結果、小学生の団体優勝は開成町「開成南スカイチーム」、準優勝は開成町「開成プラネットチーム」、第3位大井町「大井っ子チーム」、母親チームの優勝は南足柄市「岩原マザーズ」、個人では、優勝田村龍生選手(大井町)、準優勝近藤雄斗選手(開成町)、第3位佐々木輝選手(開成町)でした。



平成25年使用交通安全ポスターデザイン募集

募集期間

平成24年11月下旬～平成25年1月31日（木）まで（必着）

募集区分

- 1 一般部門A：一般及び学生（小・中学生も応募可）
運転者（同乗者を含む。）に対するもので、作品サイズはB2判（515ミリ×728ミリ）縦位置のみ
 - 2 一般部門B：一般及び学生（小・中学生も応募可）
歩行者・自転車利用者に対するもので、作品サイズはB2判（515ミリ×728ミリ）で縦位置のみ
 - 3 こども部門：小・中学生に限る
対象等の限定はなく、作品サイズはB3判（392ミリ×542ミリ）または四ツ切り画用紙（364ミリ×515ミリ）で縦・横位置自由
- ※1 障害をお持ちの方で上記3部門作品サイズを描くことが困難な方は、毎日新聞社事業本部「交通安全ポスター」係へお問い合わせください。
- 2 各部門の平成25年使用内閣総理大臣賞受賞スローガン（平成24年11月下旬発表予定）を必ず原文のまま使う。ひらがなを漢字に直した場合や句読点、括弧などの付加は失格。レタリング、イラストレーション、写真のデザイン化も自由。パソコン利用による制作可。
 - 3 応募点数の制限なし。共同制作も可。
 - 4 自作、未発表の作品に限る。
 - 5 制作上の注意（危険性を訴える必要がある場合などの表現を除く。）
 - (1) 信号機、標識、標示などは正しく描く。
 - (2) 車内の人物はシートベルト着用。
 - (3) 自転車安全利用五則に沿って表現。

送り先

〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 毎日新聞社事業本部「交通安全ポスター」係
(電話03-3212-0190)

発表 平成25年3月中旬の毎日新聞紙上とNHKテレビ
表彰式 平成25年3月下旬

各地区で交通指導員研修開催

連日の猛暑の中、地区交通安全協会の中核として夏祭りなど各種イベント等において、ボランティア活動をされている交通指導員の皆様方、大変ご苦労様です。

各地区では、交通指導員事業運営要綱に基づき、交通指導員の教育訓練の一環として研修会が開催されています。研修では県協会の高橋専務理事や地元警察署長の挨拶、交通課長の講話等の後、交通整理要領、受傷事故防止要領などについて、具体的に実地研修を行っ

ています。

これまでに研修を実施し、あるいは予定している安全協会は、藤沢市、都筑、川崎臨港、鎌倉、相模原、磯子、相模原北、浦賀、津久井、逗子市、大和綾瀬、宮前、秦野市、鶴見、多摩、厚木警察署管内、大船、海老名市、藤沢北、青葉、川崎の各地区協会です。

(写真は都筑(左)、川崎臨港(中)、秦野市(右)の研修会)



賛助会員の紹介

このコーナーでは、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。

- 日本カーソリューションズ(株) 東京都港区芝浦
- 神奈川東ヤクルト販売(株) 東京都町田市野津田
- (株)新井出版 東京都品川区大崎
- 日本ペプシコーラ販売(株) 東京都府中市府中町

インフォメーション

- 自転車安全整備制度ブロック会議 10/ 4(東京都)
- グッドライダーミーティング 10/ 6(厚木中央自動車学校)
- 二輪車特別講習会 10/13(運転免許試験場)
- 二輪車安全運転指導員資格審査 10/20(運転免許試験場)

タイムマシーンをおげたい

24

警察官から見た交通事故の回顧録

「無言の叫び」

「バーン」という鈍い音が辺りにこだまし、居合わせた通行人は誰もが通過したトラックのタイヤがパンクしたものと信じて疑わなかった。しかし、その音がした直近の横断歩道を示す白線が見える見ろうちに真っ赤に染まった。

これは、タイヤのパンクの音ではない。子供の頭をトラックが轢いた音だ。

誰もが聞いたことがない別世界の音だった。

下校途中に横断歩道を渡っていた小学四年生の男の子が、左折したトラックの左後輪で頭部を踏みつけられたひき逃げ死亡事故だった。自宅まで残りわずか百メートルの場所で、自宅がもう見える地点で起こったのだ。

我が子の惨劇を聞いた母親は、我が子の名前を叫びながら一目散に現場に向かった。現場に横たわった男の子は、見るも無惨な状態で、今朝、「行つてきまーす。」と、元気に出かけて行ったあの面影は微塵もない。しかし、母親は、周囲の制止を振り切り、倒れている我が子を両手で抱き起こした。そ

して、頭部から流れ出る血を左手で押さえ、右手で飛び散った物を必死で集め、何度も何度も我が子の名前を呼び続けた。

だが、子供は身動きひとつせず母の両腕に抱かれたままだった。救急車のサイレンの音が遠くから聞こえてきたが、救急車が必要ないことは誰もが分かっていた。私は、救急車のサイレンの音が、母親の叫び声でかき消されてしまったような錯覚を覚えた。

逃げたトラックを発見したのは、事故現場からさほど遠くない駐車場だった。

左後輪に、滴の汚れのような染みを発見し、確信を持つて近づいたのだが、トラックの車底部を確認したとき、思わず息を呑んだ。そこには、二面におびただしい血痕が付着していたのだ。まるで子供の最後の断末魔の叫び声が聞こえるかのようだった。

運転手は事故を起こした覚えはないと容疑を否認したが、血痕を目の当たりにし、容疑を認め泣き崩れたことは言うまでもない。

『交通安全子供自転車全国大会観戦記』

厚木警察署管内交通安全協会睦台南支部長

清水小学校自転車チーム監督

田口 孝男



第47回交通安全子供自転車全国大会が8月1日(水)、東京ビッグサイトで開催されました。清水小学校チームもこの大会を目指し毎年、予選を兼ねた神奈川県大会にチャレンジしていますが、昨年引き続き今年も準優勝、あと二歩というところで『あこがれの夢舞台』に立つことは叶いませんでした。

いつかは全国大会へ、次こそは、という思いが込み上げ初めて全国大会の会場に行ってきました。まずは予想以上に広い会場に驚きました。観客席は無く競技コースを取り囲むように各県の応援席が並びます。派手なぼりや横断幕がずらりと掲げられ、全国から集まった子供たちと関係者で熱気に包まれた中、開会式も無事に終わりのよい競技開始です。全国大会では「安全走行テスト」と「技能走行テスト」が二つに続けて行われます。さ

すがに各県の予選を勝ち抜いてきた強豪チーム、「安全走行テスト」では安全確認のきびきびした身のこなし、気合の入った大きな掛け声、背筋の伸びた正しい運動姿勢、ふらつきのない安定した走行、どの子供たちも「鍛えに鍛え抜かれた」という印象を受けました。「技能走行テスト」でもやはり子供たちの技能は完成度が高く「ジグザグ走行」でピンを倒す選手はほとんど皆無、「二枚の板のり」の乗り換え部分も皆ほぼ同じ理想的なラインを正確に通過していました。審判員に至っては、まるであらを探すかの如く食い入るように間近で採点していたのが印象的でした。子供たちを熱心に指導されている方々、極度の緊張感と戦いながら練習の成果を発揮する子供たち、そんな真剣な姿を間近で見ることができ、今後指導していくうえで大いに勉強になりました。来年こそは見学ではなく、清水小学校の子供たちを連れて出場したいと、心に強く込み上げるものを感じた「日」となりしました。最後に観戦するにあたり、ご高配をいただきました県交通安全協会の皆様に感謝申し上げます。

自転車の豆知識④

～自転車マナーアップ イン神奈川～

【自転車の通行区分の原則 その3】

普通自転車専用通行帯がある道路は、どこを通行するの？



相模原市中央区相模原付近の普通自転車専用通行帯

「普通自転車は、普通自転車専用通行帯が設けられている道路では、その専用通行帯を通行しなければならない。」（道路交通法第20第2項抜粋）

普通自転車専用通行帯は、カラー舗装が望ましいとされていますので、青色などの色付きになっています。



普通自転車専用通行帯が設置されているのは

県内では、平塚市、相模原市、港南区、川崎市、中原区、宮前区、鎌倉市、藤沢市に設置されています。

普通自転車専用通行帯は、どうやって通るの？

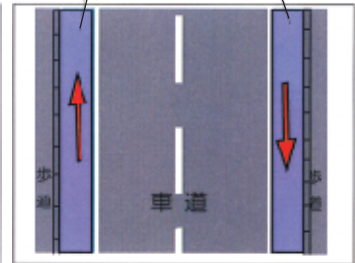
- ・普通自転車専用通行帯は車両通行帯ですから、左側通行です。道路の両側に設けられています。
- ・自転車道との違いは、右図のとおりです。



自転車道（自転車対策通信③参考）



普通自転車専用通行帯



（↑ は、自転車のとるべき進路）

TSマークを貼りましょう!

TSマークには
保険が付いているので安心です!

年に一回、自転車安全整備店で、点検・整備を受けると、そのしるしとしてTSマークが自転車に貼付されます。TSマークには賠償責任保険と傷害保険の2つがセットになった年間1万円未満の保険が付いているので、もしもの時に安心です。

お近くの自転車安全整備店へご相談ください。



TSマークの種類と付帯保険の補償内容

| 第一種TSマーク (青マーク) | 第二種TSマーク (赤マーク) |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  賠償責任・傷害保険 100万円・100万円 自転車安全整備士 |  賠償責任・傷害保険 100万円・100万円 自転車安全整備士 |
| 〇入院15日以上 (1年) 1万円 〇死亡・遺体後遺障害 (1~4級) (1年) 30万円 | 〇入院15日以上 (1年) 10万円 〇死亡・遺体後遺障害 (1~4級) (1年) 100万円 |
| 〇死亡・遺体後遺障害 (1~7級) (1年) 1,000万円 〇賠償額 1,000万円 | 〇死亡・遺体後遺障害 (1~7級) (1年) 2,000万円 〇賠償額 2,000万円 |

新着DVD

「真剣に考えよう 自転車のこと」の紹介

多くの人が「自転車で加害者になるような大きな事故は起きない。」と考えているのではないのでしょうか。

しかし、実際には自転車が歩行者と衝突する事故が発生し、大きな社会問題となっているのです。このDVDの主人公・小学生の拓也くんは自らの乱暴な運転により、歩行中のおばあさんとぶつかり、おばあさんは意識不明になってしまいます。拓也くんはいったいどうなるのでしょうか……。

実際に起きた自転車事故の裁判例を挙げ、交通事故の責任の重大さを訴えます。





ハンドルキーパー運動の紹介

その254 鎌倉交通安全協会から

鎌倉交通安全協会(野村修平会長)では、JR鎌倉駅前において、飲酒運転追放等の幟旗を掲出し、乗降客等に対し、チラシ等を配布しながら飲酒運転の防止、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その253 戸部交通安全協会から

戸部交通安全協会(大久保満男会長)では、国道1号西横浜駅入口交差点において、飲酒運転根絶、ハンドルキーパー運動の幟旗を掲出し、チラシ等を配布しながら飲酒運転の危険性を訴え、運動の実践を呼びかけました。



その256 相模原北交通安全協会から

相模原北交通安全協会(吉田實会長)では、JR橋本駅前の大型スーパー横交差点において、スーパーへの買い物客、通行人、自動車運転者等に対し、飲酒運転の危険性を訴え、その根絶、飲酒時のハンドルキーパーの確保等を呼びかけました。



その255 厚木警察署管内交通安全協会から

厚木警察署管内交通安全協会(石井廣好会長)では、相模川河川敷に赴き、バーベキューを楽しんでいる人等に対し、チラシや啓発物を配布しながら、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



地域交通安全活動推進委員研修

地域交通安全活動推進委員(以下「推進委員」という。)制度は、道路交通法を根拠として平成3年1月から全国でスタートし、活動の内容は数度の改正を経て交通安全教育など9項目が列挙されています。

推進委員は、名誉職で、地域における道路交通に関するモラルを向上させ、交通安全の確保について住民の理解を得るための諸活動のリーダー、ボランティアとして活躍していただいています。

県協会は、公安委員会から交通安全活動推進センターとして指定を受け、推進委員に対する研修を行うこととされています。研修内容は、道路交通関係法令の基礎知識、道路交通の現状に関する知識等で、当協会の職員が各地区交通安全協会を通じて計画的に研修(協議会別研修、ブロック別研修)を行っていますので、事前に日程等の調整をお願いします。

(写真 ～ 津久井地区の研修会)





都筑交通安全協会
会長

皆川 みながわ

豊蔵 とよぞう さん

都筑交通安全協会は、港北ニュータウン等の開発に伴い、港北区と緑区から分離して新しい都筑区が誕生したことから、港北交通安全協会から分かれて、平成6年11月5日に発足しました。

発足当初は、警察署もなく事務所だけが都筑区川和台に置かれ、免許更新事務は港北警察署が取り扱っていましたので細々と事務を執行しているような状況でしたが、平成12年5月1日に県下52番目の警察署として「都筑警察署」が発足したことに伴い、当交通安全協会の事務所を警察署内に移し、現在に至っています。

この地で生まれ育った皆川会長は、造園業を営んでおり、県下の造園業協会でも長年役員として活躍され、当協会の運営にもその力を発揮

してきましたが、地域においても惜しみなくボランティア精神を発揮され、活動されることから周りからの信頼も絶大なものがあります。

現在は、造園業の役員もお辞めになり、仕事も息子さんに譲り、悠々自適の生活環境の中で交通安全協会の会長としてご尽力をいただいております。

都筑区では、忘れたころに大きな交通事故が発生しています。全国的に大きな反響のあったサレジオ高校生が犠牲となった事故、また、看護師さん3名が亡くなった交通事故が記憶にあると思いますが、会長はこのような悲惨な交通事故の絶無を期して各種キャンペーンや街頭活動等に日夜取り組んでいます。（取材協力：都筑交通安全協会）

こんにちは

「横浜市交通安全協会」です

財団法人横浜市交通安全協会は、戦後間もない昭和23年に交通安全活動を行う任意団体として設立され、昭和28年8月には財団法人となりました。昭和60年には、「横浜市自転車等の放置防止に関する条例」に基づく自転車駐車場の整理運営、放置自転車の移動、保管・返還業務を受託するとともに、違法駐車等の追放を目的とした自動車駐車場の経営事業を開始し、現在の組織体制及び事業体系の原型が出来上がりました。

交通安全対策事業に関しては、横浜市内の21地区交通安全協会や、横浜市、各警察署等との連携のもと、交通安全教室や交通安全広報啓発事業、交通安全功労者表彰事業等を展

開しております。

現在主力事業となっている「はまっ子交通あんぜん教室」は、小学校における安全な歩き方に加え、体験型教育（衝突、巻き込み、死角実験）を取り入れ、危険を視覚的に疑似体験することにより、交通安全意識の醸成を図ることを目的として実施しております。平成23年度は、横浜市内の小中学校、203校、67,785名の児童を対象に実施しました。

また、平成24年度は横浜市から自転車利用者に対する啓発事業を受託し、自転車交通事故多発地域に指定された地区を中心に、街頭で自転車利用者に対し、ルールとマナーの周知に努めています。

昭和40年代の交通戦争と言



われた時代に比べ、交通事故の発生件数、死者、負傷者は大幅に減少しました。しかし、未だに交通事故により尊い命を失う方がたくさんおられます。私たち横浜市交通安全協会は、横浜市内の21地区交通安全協会や関係機関・団体の皆様と連携し、横浜市内から悲惨な交通事故を減らすための活動に全力を尽くしてまいります。

（細谷 記）

（写真、保土ヶ谷区星川小での「はまっ子交通あんぜん教室」）

地区交通安全協会の活動紹介

～夏の交通事故防止運動等～



青葉

交通死亡事故が多発したことから安協役員、交通指導員、青葉署員等52名が夏の交通事故防止運動の出陣式を行い、街頭に出て交通事故防止を呼びかけました。



横浜水上

大棧橋開港広場前交差点において、通行人に対してウチワやチラシを配布しながら交通事故防止を呼びかけました。



鎌倉

市内の菓子店に依頼し、交通安全祈願の「交通安全どら焼き」を作つて、交通安全活動の機会に配布するなど交通安全を呼びかけました。



相模原

自治会館に、夏休み中の子供会56人を集め、飛び出し事故想定、DVD講習、TSMマークの説明、自転車の乗り方指導とチリカの発行などにより親子に交通安全を呼びかけました。

戸部

岡野グラウンドで、「第5地区ふれあいの夕べ」を開催し、ミニバイクの乗車体験のほか、チラシやウチワの配布等を行いました。



泉

子ども交通安全教室を開催し、自転車点検要領、路側帯や自転車道等道路標示の説明その他交通ルールを指導する等により交通安全を呼びかけました。



高津

死亡事故が続発した国道409号「尻手黒川線の信号柱などに、「事故多し スピードおとせ」等の看板を設置して、ドライバーに交通事故防止を呼びかけました。



藤沢市

市内大道小学校4年生を対象にチリリンスクールを開講し、ダミー人形飛出し実験、安全な乗り方などを指導して、チリカを発行、自転車事故の防止を呼びかけました。



あなたの会費が交通安全活動に役立っています

編集後記

今年も暑い夏休みが終わり、子供や学生たちが登校する姿を見るようになりました。今年の夏休みはロンドンオリンピックと重なったので、なでしこジャパンなど日本人選手の活躍や陸上男子100.200メートルのウサイン・ボルトジャマイカなどのテレビ観戦のため睡眠不足気味の方も多かったのではないのでしょうか。

この夏休み中に国内では、三重県鈴鹿サーキットにおいて二輪車安全運転全国大会が、東京ビッグサイトでは交通安全子供自転車全国大会が開催されました。参加した選手の皆様や関係者の方々の長期間に渡る訓練やご努力本当に御苦労さまでした。これらの大会は競技を通じて交通安全意識の高揚と運転技能の向上を図ることにより、交通事故を防止しようと開催しているものです。

ここにごて自転車は気軽に乗れる移動器具として東日本大震災以来注目が高まっていますが、それに伴い交通事故における自転車事故の構成率が増加しています。街で自転車を運転している人を見ると、そもそも自分が道交法上の車両を運転しているという意識がまったく無いことが分かります。赤信号でも止まらずに行ってしまうし、歩道を歩いていると平気で追い越して行きます。

自転車を利用する人は、ここで改めて自転車運転のルールとマナーを再認識する必要があります。県警の交通安全教育隊は今年から「チリリンスクール(自転車交通安全講習)」を始めますが、大人も自転車の正しい乗り方を守りましょう。

今月21日(金)から「秋の全国交通安全運動」が始まります。地区交通安全協会の皆様には引き続き交通事故防止に向け、ご尽力賜りますようお願いいたします。(Y・O記)